

## 骨髄微小転移の検索と臨床的意義

乳がん患者の骨髄中の微小転移が、予後を予測する因子として重要であるということが報告されています。胸骨・腸骨・肋骨などから骨髄を採取し、そこに含まれる乳がん細胞を、免疫染色や分子生物学的方法(RT-PCR)を用いて検出し、微小転移の有無をみることで、再発や生存に関する予後が予測できる可能性があります。このことは、化学療法における治療効果予測や術後薬物療法の適応決定などにも応用が可能と考えられています。